



ちよっとためになる お金 の話

こんにちは。FP（ファイナンシャルプランナー）角山です。

今回は、現在のNISA制度と来年から始まる新NISA制度についてお伝えしました。時々、「NISAをしたいのですが、どつすれば良いですか？」と質問を頂きます。

NISAは制度の話で、実際には金融商品を選ぶ必要があります。現行のNISA制度で言うと、「こんな感じ」です。

● 一般NISAは、**株式・投資信託**等を年間120万円まで購入でき、最大5年間非課税で保有できます。

● つみたてNISAは、一定の**投資信託**を年間40万円まで購入でき、最大20年間非課税で保有できます。

● シュニアNISAは、**株式・投資信託**等を年間80万円まで購入でき、最大5年間非課税で保有できます。

NISAは、制度（器）であってその中に選べる金融商品（株式、投資信託など）があり、それを器の中に入れていくイメージです。これはiDeCoも同じです。



ちなみに、iDeCoはご存じですか？中には既にされている方もいらっしゃるかもしれませんが、概要をお伝えします。iDeCoのメリット・デメリットは次の通りです。

メリット

■ 積立金額が全額所得控除になるので、その年の所得税や翌年の住民税が安くなります。

メリット

- 運用益が非課税です。 ↑これはNISAと同し（※現行のNISAは期間にのみ）
- 受け取り時に税制優遇があります。
 - ①一時金で受け取る時 ↓退職所控除
 - ②年金で受け取る時 ↓公的年金等控除
 - ③一時金と年金受け取りの併用 ↓退職所得控除と公的年金等控除

デメリット

- 原則、60歳まで引き出せません。老後の資産形成を目的にしており、その手前でお金が必要になる可能性がある時は、掛金に注意が必要です。
- 運用状況によっては資産が増減します。 ↑これはNISAと同じ
- 申し込みの金融機関によって、手数料が変わります。

iDeCoに関しては、また詳しくお伝えします。

今回は、金融商品を選ぶポイントをお伝えします。来月も良かったら、見てくださいな。

HUG HUG特典 無料相談は要予約
角山先生と1対1で相談（相談時間：1時間 無料）
&
家計診断（ライフプラン）作成プレゼント



無料相談をご希望の方は、メールにて受け付けています。
①氏名 ②メールアドレス ③電話番号 ④ご希望の日時を明記し、[info@hughug-town.com]までお送りください。



角山 大尚

約18年前より独立し、ファイナンシャルプランナーとしてセミナーや個別相談会を全国各地で開催。個別で勉強して身につけた知識をどう実生活に活かしていくのかをアドバイスしている。